

昨年お寄せいただいた募金で…

令和2年の共同募金運動でお寄せいただいた2億8,002万672円は、栃木県内の社会福祉施設の備品整備や、県域福祉団体が行う支援活動、社会福祉協議会を通じた市町の地域福祉推進のための事業に“今”まさに活用されています。

今年は特に、新型コロナウイルスによって表出した課題を解決するための活動も県内全域で展開され、皆様の温かいお気持ちとその支えとなっています。

また、一部は大規模災害に備えて「災害等準備金」として積み立てもおこなっています。



共同募金運動は、来年のため？



共同募金会では、予め来年度実施するさまざまな地域福祉活動の申請を受け付け、その内容を調査・審査のうえ円滑に事業が行えるよう、配分計画・目標額を決定しています。この目標額は、県内の皆様にご寄付をお願いする際に、どの程度のご協力をいただければ計画された事業が実施できるのかという目安としてお示ししています。

来年度も、新型コロナ感染下でありながら、アフターコロナを見据えた“つながりをたやさない社会づくり”が必要と考えています。

令和4年度に向けた共同募金運動

令和3年度
募金目標額 **281,896,000円**

赤い羽根共同募金
目標額 **223,317,000円**

※上記目標額のうち1,530,000円は、地域の福祉課題に取り組む5団体が令和4年1月から3月に募金活動を通じて応援を募る取り組みの目標額です。

歳末たすけあい目標額 **58,579,000円**



令和3年度募金 配分計画額
(令和4年度実施) **282,200,000円**

※目標額との差額304,000円は、前年度繰越金(配分の辞退による戻入等)を充当します。

県内25市町の社会福祉事業へ (サロン活動・福祉教育・世代間交流事業など)	125,695,000円
県内20の社会福祉施設・NPOへ (保育所・障がい者の就労支援施設の備品整備など)	21,054,000円
県域で活動する27の福祉団体へ (障がい当事者やその家族の支援団体の事業など)	18,960,000円
児童養護施設等就労支援へ (就労する児童の普通自動車免許取得の支援)	5,200,000円
赤い羽根安心生活支援プロジェクトへ (日常生活支援事業・住民同士の支え合いの取り組み支援など)	3,172,000円
赤い羽根おうえんプロジェクトへ (プロジェクト参加団体が掲げる福祉課題解決・改善の事業)	2,240,000円
募金活動の経費や管理費等 (次年度運動のための活動費・管理運営費等)	38,800,000円
歳末たすけあい事業へ (年末年始時期の福祉活動や、支援が必要な方への見舞金贈呈など)	58,579,000円
災害等準備金 (大規模災害に備えるための積立)	8,500,000円

税制上の優遇措置

※確定申告の際には、共同募金会の発行する領収書が必要です。

法人の寄附

全額損金算入になります。

個人の寄附

所得税

「所得控除」または「税額控除」を受けることができます。

住民税

個人住民税の税額控除を受けることができます。

社会福祉法人

栃木県共同募金会

会長 池田清貴

宇都宮市若草1丁目10番6号とちぎ福祉プラザ内

電話(028)622-6694

赤い羽根とちぎ |

検索

<http://www.akaihane-tochigi.or.jp/>
詳しくはこちらへ